

第4回大山崎町立中央公民館等施設整備検討会議 会議要旨

日時：

平成30年3月27日（火）午後2時00分～午後4時00分

場所：

大山崎町役場 3階中会議室

出席委員

田所会長、中田会長職務代理、百田委員、岸本委員、井上委員、堀内委員、井幡委員、
下田委員、田中委員、上田委員、菱木委員、名和委員

欠席委員

なし

事務局

本部政策総務課長、中村管財係リーダー、宮田主任

傍聴者

5名

【会議次第】

1. 開会

会長あいさつ。

<傍聴者及び記者 入室>

【議事】

2. 議題 中央公民館等の整備方策の検討について

前回会議においての各委員からの意見について、発言をそのまま記載したものを参考に
配付。公表はしませんので手元資料としてご利用下さい。

【主な意見、質疑応答は次のとおり】

(会長) 前回、複合化関係の意見に時間を割いて議論を進めたので、その他の意見はございませんか。

(委員) 基本は現況調査・把握をして整備を進めて行くものだと思う。それは置いておいて今回の話が進んでいると思う。

(委員) 長寿命化という話が国であり、その後に複合化であるとかの話が出てきたように思う、当初のインフラの長寿命化で町も進んでいくべきだと思う。

(委員) 長寿命化で考えると、示されている数字をそのまま使うのは無理があると思うので、現状に即したものを計画し、示していただく方がわかりやすい。

(委員) 調査だけで費用や担当者も必要であり、一般的な数字で示すのは致し方ないのではと思う。

(委員) 建築職員はスポット的に回されることが多く、公共施設の維持管理、マネジメントに手が回りにくい。今まで修繕に要した費用を示していただいたが、適正に管理するには無理な予算であり、緊急を要する範囲しかお金が回っていなかったのではないかと思う。町でマンパワーを入れてやっていくのは無理があるのではと思う。

(会長) 事務局から配付された資料を基に委員の意見のとりまとめとしての見取図がどうなっているのかというのをみていきたいと思います。まず、単独建替えを推されている意見はありませんでした。2番目に長寿命化改修に対する意見がありました。3番目に複合化に対する意見として、A~D案が事務局から示され、積極的なところから消極的なことも含め多くの意見がありました。前回の意見を聞いて新たな意見はありませんでしょうか。高齢者福祉の意見が少なかったように思いますがいかがですか。

(委員) 多世代交流を図りつつ、高齢者の居場所づくりも必要であると思う。

(委員) 多世代交流を図るためにはもう少しスペースがいるのではと思う。

(会長) 交流スペースは公民館に含むという考え方もできるのではと思う。

(会長) 子育て機能についての意見はありますか。

(委員) 施設をつくっても今の忙しいお母さんを呼ぶのは時代的に難しいのではと思う。

(委員) 未就園児と保育所に通っている子どもでは利用時間などが違っている。

(委員) 未就園児の専用場所ではなくフリースペースとして誰でも利用できるものがあればいいのではと思う。

(会長) 子育て機能といってもバリエーションが豊かであることがみえてきました。地域コミュニティの重要性や同じ悩みを持つ人との交流などを検討する必要があると思う。

(会長) 他の機能で意見がありますか。

(委員) お年寄りの一番の希望は健康でありたいことだと思う。健康増進施設に通われている方が非常に多い。医療費も安くなるし良いと思うが、優先すべきかどうかは迷うところ。

(委員) そもそも面積を削減するのが条件になっている。条件にとらわれないで計画できるのであれば機能を充実できていいと思う。

(委員) 健康増進施設にはインストラクターが必要になると思う。

(委員) 1つの施設に交流拠点を集約するのではなく、地域のサークル活動が面的にあっていいと思う。

(会長) 保育所機能について反対や慎重な意見がありましたが追加のご意見はありますか。

(委員) 他施設でも混在するのはいやがられることが多い。

(会長) ホール機能についてご意見はありますか。

(委員) 現在の規模は維持して欲しいと思う。

(委員) ステージにどん帳がないのは演者の意気込みが違ってくると思う。

(委員) 今のホールは残して、その他を複合化することも検討できればと思う。

(会長) 他に検討しておきたいというご意見はありますか。

(委員) アンケート結果をよく把握する必要があると思う。

(会長) 潜在的なニーズについてご意見はありますか。

(委員) 交通アクセスについて改善すれば色々な課題が解決されると思う。

(会長) 今まで出た意見を記憶の範囲でとりまとめをしたいと思います。

中央公民館等の施設整備の方策についての検討で出た意見は、単独建替えについて議論が進むということは見られず、大きくは複合化のご意見が多かった。また、長寿命化改修についても複数の方から支持する声が一定程度ありました。

長寿命化の意見について、大山崎町の現状の施設についての現状把握、基本データが少ない。その中で施設整備の話をするのは困難という指摘が前提としてあった。その上で、現在の議論の対象となっている施設の多くは長寿命化改修によって使い続けることができると思う。合わせて補修、施設修繕など今まで十分なされていなかったのではないかと指摘がありました。

複合化について、多くの方が賛意を示しました。ただし、その中には消極的、条件付きから積極的に推進するなどの意見があった。傾向としては、公民館の機能、社会教育や図書館の機能、老人福祉の機能、健康増進の機能、子育て支援の

機能、ホールの機能、保健センターの機能、異世代多世代交流の機能、防災機能、などについて話し合いが交わされ、現在あるニーズ、将来的なニーズ、潜在的なニーズをよく検討して機能の取捨選択が必要という意見があった。

保育所の機能について、慎重ないし反対の意見、専門家の知見が必要という意見があった。

図書機能について、他自治体の利用、町として保存記録の為にあるべきだという意見があった。

老人福祉機能について、高齢者の憩いの場、青年・若者との交流が図られる施設の意見があった。

公民館機能について、充実・強化、多世代交流が図られる施設の意見があった。

前提として、間接的ではあるが財政基盤の話として、将来的な町民への負担をよく考慮して欲しいという意見があった。

(会長) 各委員の意見を公正に意見書に反映できるよう努力します。最終的には事務局とのとりまとめについて会長一任で宜しいですか。

(委員) (異議なし)

3. その他

事務局より今後の予定案内。

閉会